

## ルワンダの小学校で菜園クラブの生徒が有機栽培を実践

東アフリカの内陸国ルワンダは丘陵地帯が多く、農業に適した平地が少ないため、農業生産性の向上は重要な課題です。カロリーオフセットではルワンダの25の農園を支援しています。

中西部ギタラマ県のRenema小学校では、4年生から6年生の約100名が菜園クラブに所属し、毎週金曜日の授業後に菜園で農作業に取り組んでいます。収穫した野菜は家に持ち帰ったり、市場で販売して貧困家庭の子どもが学用品を購入するための費用に充てられています。

この地域では、ほとんどの家庭が零細農家ですが、両親世代の農業知識が豊富とはいえ「販売作物といえばバナナしか知らない」という子もいるほどです。菜園クラブでは様々な野菜の栽培方法を学び、種や苗を持ち帰ることもできます。菜園クラブで学んだ知識を活かして家でも同じ野菜を育て、収穫物を市場で販売し、家計の支えとしている家族もいます。

### 99の農園ができました

(2016年12月時点)

### 菜園クラブの活動風景



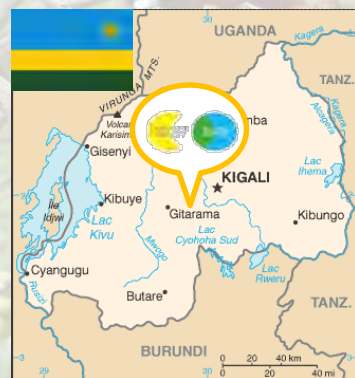
ルワンダの菜園ではピーマン、マンゴー、アボカド、キャベツ、玉ねぎ、人参、コーヒーなど様々な野菜を育てています。

### 商品価値の高いコーヒー豆も栽培



コーヒーの木

コーヒー豆はルワンダの輸出総額の20%以上を占めていますが、小規模農家の栽培技術の欠如や害虫対策の不足などにより、品質改善の遅れが指摘されています。Renema小学校の菜園ではコーヒー豆も栽培しており、菜園クラブの生徒だけでなく、地元の農家が学ぶ場にもなっています。



ルワンダはアフリカ東部に位置し、国土面積は約2万6千Km<sup>2</sup>とアフリカの中でも9番目に小さい国です。人口は1千万人を少し超えるほどで、労働人口の8割は農業に従事しています。

豊富な自然環境を活かして近年はエコツーリズムなど観光業にも注力しています。